

《豪雨から東京を守る！下水道の浸水対策》

下水道局では、浸水対策を推進することで都市機能を確保し、お客さまが安全に安心して暮らせる東京の実現を目指しています。近年、東京では豪雨が頻発し、浸水が発生しているため、新たな下水道管やポンプ所など豪雨に対応する施設整備を推進しています。

【千住地区の浸水対策事業（隅田川幹線・千住関屋ポンプ所）】



隅田川幹線のシールドトンネル坑口部



千住関屋ポンプ所

隅田川

千住関屋ポンプ所の全景

隅田川幹線に取り込んだ雨水を千住関屋ポンプ所から隅田川へ排水

《幹線の老朽化対策・水質改善対策 千代田幹線整備事業》

千代田幹線整備事業は、老朽化している既設幹線の再構築と、外濠等の水質改善を目的とするプロジェクトです。この事業を行うことで、大正から昭和にかけて整備された3つの下水道幹線（飯田橋幹線・中段幹線・高段幹線）の水位を低下させ、これらの老朽化対策を可能にします。

また、雨天時に皇居外濠に放流されていた降雨初期の特に汚濁負荷の高い下水を千代田幹線に流すことで、水質を改善します。工事の進捗状況は、下水道局ホームページで見ることができます。（工期 2016年11月21日～2020年3月）



飯田橋から芝浦水再生センターまでを大深度のシールド工法で施工



発進立坑内部

《東京下水道の国際展開》

【マレーシアの技術者に対する人材育成研修の実施】

東京下水道は、マレーシアの水環境の改善を目的として、東京の技術提案が採用されているマレーシアの首都クアラルンプール郊外のランガット地区において、同国政府による下水道整備プロジェクトに対する技術支援を行っています。

本プロジェクトの技術支援の一環として、JICA「草の根技術協力事業」により、現地技術者に対して当局施設等を活用した人材育成研修を実施しています。



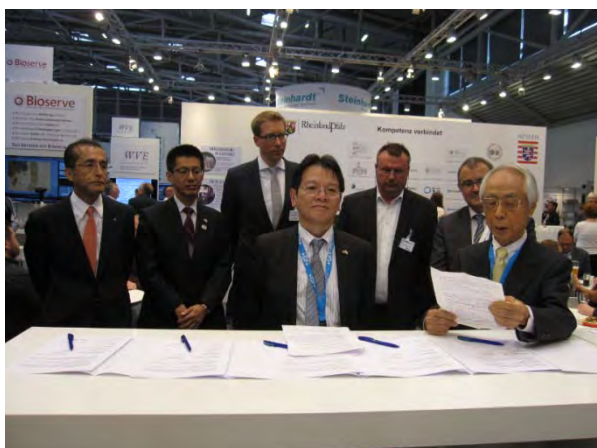
ランガット下水処理場（平成30年7月）
（出典：LANGAT SEWERAGE PROJECT HP）



JICA「草の根技術協力事業」研修風景

【ドイツ企業と共同研究に関する覚書締結】

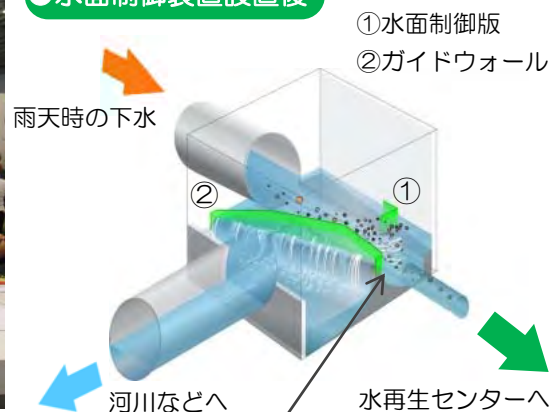
下水道局、東京都下水道サービス株式会社及び日本企業の三者が開発した特許技術である、合流式下水道の雨水吐口から河川などへのゴミの流出を抑制する「水面制御装置」について、ドイツ企業との間で、欧州での普及拡大を目的とした共同研究に関する覚書を平成30年5月に締結しました。



ドイツ ミュンヘンIFAT会場ヘッセン州ブースでの覚書締結式

（出典：ヘッセン州 貿易・投資公社HP）

●水面制御装置設置後



渦を発生させ、
その流れでゴミを
水再生センターへ導く

